

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	岡山理容美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
理容美容専門課程	理容科	夜・通信	50	6	
		夜・通信			
理容美容専門課程	美容科 美容コース	夜・通信	50	6	
	美容科 トータルビューティコース	夜・通信	53	6	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校にて閲覧可能
----------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	岡山理容美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校にて閲覧可能
----------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容組合 理事長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	理容組合 副理事長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	理容組合 副理事長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	美容組合 理事長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	美容組合 副理事長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	美容組合 副理事長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	元県職員	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	元県職員	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	理容組合 教育部長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進

非常勤	美容組合 教育部長	2018.7.16 ～ 2021.7.16	健全な学校経営及び運営の為の協議、検討並びに推進
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	岡山理容美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>理容美容専門課程において授業計画書を作成している。                  授業計画は理容師・美容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議している。                  授業は授業計画書に沿って1単位時間50分を標準とし、教科科目の特質(学科・実技・演習等)に応じて実施する。                  指導計画書は、前年度末に作成し年度はじめにおいて学生に明示すると共に、本校において閲覧可能とする。</p>	
授業計画書の公表方法	本校にて本文の閲覧可能
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。                  また、年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかつており、優(100点～90点)、良(89点～70点)、可(69点～60点)不可(59点～)と評価している。学年を通じて可以上の評価を得た学生には当該科目において単位を与えるものである。                  また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年間を通して定期試験をおこない理容科、美容科美容コース、美容科トータルビューティークースのそれぞれにおいて、全履修課目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。</p> <p>また、①定期試験回毎、②前期（4月～9月）終了時点、③後期（10月～3月）終了時点④学年終了時点（4月～3月）において集計し、①～④の結果を学生に対し成績評価として示している。</p> <p>また、以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。</p> <p>*本試験をもって成績分布を把握するものであり、進級・卒業の為に起こなう再試験の結果は成績分布に反映させない</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>本校にて本文の閲覧可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>理容師法養成施設指定規則、美容師法養成施設指定規則に定められた教科課目および単位数に対し、数値化した成績考査（定期試験等）を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するものとしている。</p> <p>また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数（学科では1／3、実習を伴う課目1／5）以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本校にて本文の閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	岡山理容美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校HP <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	本校HP <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>
財産目録	本校にて閲覧可能
事業報告書	本校にて閲覧可能
監事による監査報告（書）	本校にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		理容美容専門課程	理容科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位時間/単位	23 単位	1 単位	30 単位	0 単位	13 単位
		67 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		28 人	0 人	5 人	19 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の1単位時間は50分を標準とし、教科課目の特質に応じて、授業の形態内容（学科・実技等）に合わせて実施している。 理容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議した上で授業計画を作成している。 指導計画書は、年度はじめにおいて学生に明示すると共に、随時本校において閲覧可能とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 年間を通して定期試験をおこない、全履修課目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。 また、①定期試験回毎、②前期（4月～9月）終了時点、③後期（10月～3月）終了時点④学年終了時点（4月～3月）において集計し、①～④の結果を学生に対し成績評価として示している。 以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。

<p>入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。</p> <p>年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかっており、優（100点～90点）、良（89点～70点）、可（69点～60点）不可（59点～）と評価している。学年を通じて以上の評価を得た学生には当該科目において単位を与えるものである。</p> <p>また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>理容師法養成施設指定規則に定められた教科科目および単位数に対し、数値化した成績考査（定期試験等）を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するものとしている。</p> <p>また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数（学科では1/3、実習を伴う科目1/5）以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>入学後、随時学生に対して担任面談をおこない、学生生活の充実度や学習意欲を確認している。また学習効果を上げる為、必要に応じて学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において協議確認しながら学校運営につなげている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	10人 (90.9%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
理容所 理容業界全般			
（就職指導内容）			
進級前後に就職ガイダンスを実施し、随時個々の学生に履歴書作成・面接の指導等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
理容師免許・専門士・JNEC ネイリスト技能検定3級・SBS 接客マナー検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	2人	7.4%



(中途退学の主な理由) 一身上の都合、進路変更 ほか
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任面談や三者面談を行い、退学希望者には休学や通信課程への転入を促している

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		理容美容専門課程	美容科 美容コース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		67 単位時間/単位	23 単位	1 単位	30 単位	0 単位	13 単位
			67 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		231 人	0 人	9 人	13 人	22 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業の1単位時間は50分を標準とし、教科課目の特質に応じて、授業の形態内容(学科・実技等)に合わせて実施している。 理容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議した上で授業計画を作成している。 指導計画書は、年度はじめにおいて学生に明示すると共に、随時本校において閲覧可能とする。
成績評価の基準・方法
(概要) 年間を通して定期試験をおこない、全履修科目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。 また、①定期試験回毎、②前期(4月～9月)終了時点、③後期(10月～3月)終了時点④学年終了時点(4月～3月)において集計し、①～④の結果を学生に対し成績評価として示している。 以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。  入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。  年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかっており、優(100点～90点)、良(89点～70点)、可(69点～60点)不可(59点～)と評価している。学年を通じて可以上の評価を得た学生には当該科目において単位を与えるものである。 また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。

卒業・進級の認定基準
(概要) 理容師法養成施設指定規則に定められた教科科目および単位数に対し、数値化した成績考査（定期試験等）を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するものとしている。 また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数（学科では1/3、実習を伴う科目1/5）以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。 随時、本校において本書を閲覧可能としている。
学修支援等
(概要) 入学後、随時学生に対して担任面談をおこない、学生生活の充実度や学習意欲を確認している。また学習効果を上げる為、必要に応じて学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において協議確認しながら学校運営につなげている。 随時、本校において本書を閲覧可能としている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
109人 (100%)	0人 (0%)	101人 (92.7%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容所 美容業界全般			
(就職指導内容) 進級前後に就職ガイダンスを実施し、随時個々の学生に履歴書作成・面接等の指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師免許・専門士・JNEC ネイリスト技能検定3級・SBS 接客マナー検定3級 SBS メイクディレクター2級・SBS エステディレクター2級・SBS 着付ディレクター2級/1級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
234人	12人	5.1%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、進路変更 ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任面談や三者面談を行い、退学希望者には休学や通信課程への転入を促している		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		理容美容専門課程	美容科 トータルビューティーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位時間／単位	23 単位	1 単位	30 単位	0 単位	13 単位
			67 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		234 人	0 人	9 人	13 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業の1単位時間は50分を標準とし、教科課目の特質に応じて、授業の形態内容（学科・実技等）に合わせて実施している。</p> <p>理容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議した上で授業計画を作成している。</p> <p>指導計画書は、年度はじめにおいて学生に明示すると共に、随時本校において閲覧可能とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>年間を通して定期試験をおこない、全履修課目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。</p> <p>また、①定期試験回毎、②前期（4月～9月）終了時点、③後期（10月～3月）終了時点④学年終了時点（4月～3月）において集計し、①～④の結果を学生に対し成績評価として示している。</p> <p>以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。</p> <p>入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。</p> <p>年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかっており、優（100点～90点）、良（89点～70点）、可（69点～60点）不可（59点～）と評価している。学年を通じて可以上の評価を得た学生には当該科目において単位を与えるものである。</p> <p>また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>理容師法養成施設指定規則に定められた教科課目および単位数に対し、数値化した成績考査（定期試験等）を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するものとしている。</p> <p>また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数（学科では1/3、</p>

<p>実習を伴う課目1/5) 以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) 入学後、随時学生に対して担任面談をおこない、学生生活の充実度や学習意欲を確認している。また学習効果を上げる為、必要に応じて学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において協議確認しながら学校運営につなげている。 随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
109人 (100%)	0人 (0%)	102人 (93.6%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容所 トータルビューティー業界全般 美容業界全般			
(就職指導内容) 進級前後に就職ガイダンスを実施し、随時個々の学生に履歴書作成や面接指導等を行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 美容師免許・専門士・JNEC ネイリスト技能検定3級・SBS 接遇マナー検定3級 SBS メイクデザイナー2級・SBS エステティシャン2級/1級・SBS 着付デザイナー2級/1級 JNA ジェルネイル技能検定初級・パーソナルカリスト検定3級・メイク検定プラクティカル級(JMPA 認定)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
234人	12人	5.1%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、進路変更 ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任面談や三者面談を行い、退学希望者には休学や通信課程への転入を促している		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	200,000 円	360,000 円	240,000 円	「その他」 実習費 20,000 円/月
美容科 美容コース	200,000 円	360,000 円	240,000 円	「その他」 実習費 20,000 円/月
美容科 トータルビューティ ーコース	200,000 円	360,000 円	240,000 円	「その他」 実習費 20,000 円/月
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 評価項目は、①教育理念・目的・人材育成像 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢 献・地域貢献 ⑪国際交流 (必要に応じて) を指標として検討する。 生徒・卒業生、関係業界等の地域のステークホルダーとの連携協力による特色ある専 修学校づくりを推進していく。前期、後期終了時に学校自己評価、学生アンケートから 学校評価を行い、組織的・継続的な教育活動等の改善方策を教頭、教務主任管理の元に 実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業 界 (本校同窓会)	1 年	卒業生
理美商社 (業界関連)	1 年	業界関連商社役員
高等学校 (学校現場)	1 年	学校長
主 婦 (保護者)	1 年	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.oka-kenribi.ac.jp/>